

第五十二回帝國議會
衆議院

牧野法案委員會會議錄(速記)第四回

付託議案
牧野法案(八田宗吉君提出)
家畜傳染病豫防法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和二年三月四日(金曜日)午前十時五十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 八田 宗吉君

理事 鹽田 團平君

理事 志波安一郎君

菅村 太事君 手代木隆吉君

熊谷 巖君 野原種次郎君

同月三日委員工藤十三雄君辭任ニ付其ノ補闕トシテ高橋熊次郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

農林政務次官 小山 松壽君

農林參與官 高田 耘平君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

農林省畜產局長 藏川 永充君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

家畜傳染病豫防法中改正法律案(政府提出)

○八田委員長 是ヨリ開會致シマス、家畜傳染病豫防法中改正法律案ノ質問ヲ繼續スルコトニ致シマス、御質疑ガアリマスナラバ——委員工藤十三雄君辭任サレマシテ、補闕ニ高橋熊次郎君ガ當選ニナツテ居リマス、高橋君カラ質問ガアルダラウト思ヒマスガ、今見エテ居リマセスカラ、誰カ御有リニナリマス

カ

○菅村委員 一昨年大分大阪ニ牛ノ傳染病ガアツタサウデスガ、其後ノ狀況ハドウデスカ

○藏川農林省畜產局長 政府委員デアリマセスガ、只今政務次官ガ見エマセスカラ、御許ヲ得テ私カラ——大正十四年ノ五月ニ牛ノ傳染性肋膜炎ト云フ病氣ガ

——今度ノ法律デハ牛肺疫ト書イテアリマスガ、此牛ノ傳染性肋膜炎ガ大阪ニ發生致シマシテ、昭和元年十二月末日マデニ其發生ハ二府十一縣ニ互リマシテ二百五十八頭發生致シマシタ、

政府デハ極力是ガ防遏ニ努メマシタ結果、漸次減少致シテ參リマシタ、目下ノ流行地ハ京都府ダケニ限局セラレテ居リマス、昭和二年、本年ノ一月ニ一頭發生致シマシテ二月ニ三頭發生致シマシタト云フ狀況デアリマスガ、極力防遏ニ努メテ居ル現狀デアリマス

○菅村委員 此病氣ノ發生ヲ防グ方法デスガ、傳染ハ非常ニ急速ニ行クモノデスカ、又潜伏シテ居ル時期ガ長イノデアリマスガ、發生ト斷定スルマデハ分リマセヌカ

○藏川農林省畜產局長 此牛疫即チ牛ノ傳染性肋膜炎ト云フ病氣ハ、非常ニ潜伏期ノ長イ病氣デアリマシテ、或ル學者ハ三箇月ト言ヒ、或ル學者ト六箇月ハ言

ヒ、場合ニ依テハ一年以上ニナルト云フヤウニ申シマシテ、診斷ガ非常ニ困難デアリマス、政府ニ於キマシテハ昨年度豫算ヲ計上致シマシテ、十分ニ獸疫調査所ニ於キマシテ、是ガ診斷ノ方法ヲ研究致シマシテ、補體結合法ト申シマスルヤカマシイ診斷法デアリマスカ、其診斷法ニ依リマシテ、牛ノ血液ヲ取リマシテ、其血液ニ依リマシテ病氣ガアルカナイカト云フコトノ判斷ヲヤッテ居リマス、此診斷法ハ絕對ニ有效トハ申上ゲ兼ネルノデアリマス、併ナガラ先ヅ大體ニ於キマシテハ可ナリ效果ヲ奏シテ居ルト云フ狀況デアリマス、他ノ牛ニ傳染スル狀況ハ非常ニ多イノデアリマシテ、此牛ト一緒ニ居ツタ牛、同群ノ牛等ハ大體ニ於キマシテ、日本ニ於ケル是迄ノ經驗ニ依リマス、殆ド全部感染シタト云フ所モアリマスガ、或ル場合ハソレガ、約半分位感染シタト云フコトガアルノデアリマス、殊ニ乳牛ニ於キマシテハ餘程感染ガ方劇シイノデス、唯獸疫ノ如ク急ニ感染シテ參リマシテ直グ死ヌト云フコトガナイノデアリマスカラ、一見緩慢ニハ見エルノデアリマスケレドモ、實際ハ非常ニ感染率ノ高イモノダト考ヘテ居リマス

○菅村委員 一寸參考ノ爲デスガ、大正十四年ニ大阪ノ方ニ發生シタトキニ、ソレノ豫防ノ爲ニ撲殺ヲシタト思ヒマス、ソレニハ補助金ヲ拂ツタヤウニ記憶シテ居リマスガ、ドレ位ノ數ヲ撲殺シタカ分リマスカ

○藏川農林省畜產局長 大正十四年ノ五月以來、昭和元年ノ十二月末日マデニ撲殺致シマシタル總數ハ、病牛ト致シマシテ二百五十八頭デアリマス、ソレカラ感染ノ虞アル牛、ソレガ二千四百六十五頭、其外病氣ヲ鑑定スル爲ニ殺シタ牛ガ百一頭デアリマス、此病氣ノ鑑定ヲスル爲ニ殺シタ牛ノ百一頭ノ中ニハ、病氣デナカッタモノモアルノデアリマス、ソレニ對シテ手當金ヲ交付致シマシタノガ八十萬五千五百三十八圓三十三錢デアリマス

○菅村委員 サウシマスルト今後モ斯ウ云フ風ニ殺シタ場合ニハ、斯ウ云フ工合ニ手當金ヲ御交付ニナル譯デスネ

○藏川農林省畜產局長 先程申シマシタ如ク本年ニ這入りマシタカラハ四頭ダケ發生致シテ居リマス、今後モ尙ホ此方針ヲ繼續致シマシテ、斯ノ如キ撲殺處分ヲ致シマシタ場合ニハ、手當金ヲ給スル見込デアリマス

○菅村委員 「家畜ハ所有者又ハ保管者ニ於テ警察官吏又ハ家畜防疫委員ノ指揮ニ從ヒ直ニ之ヲ殺スヘシ」トアルノデアリマスガ、斯ウ云フ感染シタト

認メタ場合ニ之ヲ殺シタ方ガ宜イト云フコトニナレバ、殺スノニハ、所謂撲殺デスガ、是ハ何カ此前ニ隔離デモスル方法ハナイモノデアリマセウカ

○藏川農林省畜産局長 家畜ガ病氣ニ罹リマシタ場合ニハ二ツノ方法ガアルノデアリマス、即チ第四條ノ第一項ニ於キマシテ「牛疫、牛肺疫又ハ狂犬病ニ罹リタル家畜」トアリマシテ、第二項ニ於テ「牛疫ニ感染シタル虞アル家畜但シ第七條ノ規定ニ依リ免疫血清ノ注射ヲ行フモノヲ除ク」トアリマスカ、斯ノ如キモノハ直ニ殺サナケレバナラヌノデアリマス、御承知ノ通り此種類ノ病氣ノモノハ非常ニ感染率ガ高イノデアリマシテ、其害ガ劇シイモノデアリマスカラ、直ニ之ヲ絶對的ニ殺スト云フコトニ法規ハ出來テ居ルノデアリマス、ソレカラ第五條ニ於キマシテ只今申シタ如キモノ、外炭疽デアルトカ、氣腫疽ト云フ如キ病氣ノ種類ヲ列舉シテアリマスカ、斯ウ云フ種類ノモノニ付キマシテハ、其家畜ノ所有者又ハ保管者ニ對シテ之ヲ殺スコトヲ命ズルコトヲ得ルト云フコトニ致シマシテ、其時ノ狀況ニ應ジマシテ、場合ニ依テハ之ヲ殺シ、又ハ之ヲ殺サズニ濟マスト云フ方法ヲ講ズルヤウニ規定ガ出來テ居ルノデアリマス、例ヘバ牛肺疫ニ付キマシテモ、現在ニ於キマシテハ殺スコトヲ得ト云フヤウニハ條文ニ書イテアリマスケレドモ、是迄此改正法以前ニ於キ

マシテハ、實際ハ多ク殺シテ居ッタノデアリマス、之ヲ改正案ニ於テハ絶對ニ殺サナケレバナラヌト云フヤウニシタノデアリマス、是迄ハ是等ノモノモ殺サズニ隔離スルト云フ方法モ講ジ得タノデアリマスガ、實際上ハ之ヲ殺サズニ置クト云フコトハ非常ニ危険デアリマシテ、外國等ニ於テハ絶對的ニ殺シテ居ルノデアリマス、左様ナ次第デアリマスカラ、本改正法ニ於キマシテハ殺スベシト云フコトニシタノデアリマス、若シ將來ニ於テ牛肺疫等ニ付キマシテモ、例ヘバ免疫血清ト云フヤウナモノガ出來テ參リマスカレバ、之ニ罹ッタ牛デモ免疫血清ノ注射ヲ行ッタモノハ宜シイト云フヤウニナツテ居ルノデアリマスカ、現在ニ於キマシテハ牛肺疫ニ罹ッタモノニ對シテハ、免疫血清ガナイノデアリマスカラ、是ハ絶對ニ殺スベシト云フコトニ致シテ居リマス、尤モ斯ウ云フ處分ヲ致ス場合ニハ、慎重ニ研究ヲ致シタ結果爲スノデアリマシテ、決シテ輕々ニ殺スヤウナコトハ致サナイノデアリマス、病氣ノ疑ガアルモノハ鑑定ノ爲ニ殺スコトガ出來ルト云フ風ニナツテ居リマスカ、實際ニ於テハ其所有者ニ對シテノ利害關係ガ頗ル大デアリマスカラ、此事務ニ從事シテ居ル官吏ハ非常ニ心配ヲ致シマシテ、十分調査シテ其處分ヲシテ居ルノデアリマス、此點ハ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

○菅村委員 大正十四年以來牛疫等ニ罹リマシタモノハ乳牛デスカ、若イ牛デアリマスカ、其大體ヲ伺ヒタイ

○藏川農林省畜産局長 牛ノ傳染病肋膜肺炎、即チ牛肺疫ニ一昨年以來罹リマシタ牛ハ、乳牛ガ非常ニ多イノデアリマス、御承知ノ通り、乳牛ハ普通一ツノ畜舍ニ澤山繋留致シテ居リマスカ爲ニ、傳染スル場合ガ多イノデアリマス、其他役牛、詰リ農牛デアリマスカ、斯ウ云フモノニモ感染ハ致シテ居リマス、併シ是ハ御承知ノ通り一ツノ畜舍ニ澤山居リマセスカラ、割合ニ少イノデアリマス、從來罹リマシタモノハ成牛ガ多イノデアリマシテ、小サイモノハ割合ニ數ガ少イコトニナツテ居リマス

○菅村委員 實際ニ於テ是等ノ病氣ニ罹ッタモノハドンナ種類ノモノガ多イノデアリマスカ、「ホルスタイン」トカ色ミナ種類ノモノガアルノデアリマスカ、ドンナ種類ノモノガ多ク罹リマスカ、ソレカラ家畜ガ是等ノ病氣ニ罹ッタ場合ニ、之ヲ殺スニハ其所有者本人ガ届出テカラ殺スノデアリマスカ

○藏川農林省畜産局長 大體ニ於テ「ホルスタイン」ノ乳牛ガ多イノデアリマス、日本ノ現在ニ於テハ「ホルスタイン」ガ非常ニ多イノデアリマスカ、要スルニ外國種ノモノハ非常ニ其傳染率ガ多イノデアリマシテ、是ハ外國種ノモノニ對シテハ血清ニ付テ十分進歩シテ居リマセヌシ、而モ從來ノモノヨリモ傳染率ガ多イヤウニ考ヘラレルノデアリマス、次ニ家畜ガ病氣ニ罹ッタ場合ニ殺スノハ、本人ガ届出テカラ殺スノデアルカト云フ御尋デアリマシタガ、其家畜ノ所有者又ハ保管者ガ届出ルコトモアルノデアリマスカ、御承知ノ通り所有者又ハ保管者ハ専門家デナイモノデアリマスカラ、其病氣ガ果シテドウ云フモノデアアルカト云フコトヲ疑ヒマシテ獸醫ニ掛ケテ見ル、其際獸醫ガ診斷ヲシテ、是ハドウモ肺疫ダト云フヤウニ決定スルノガ普通デアリマシテ、所有者又ハ保管者ノ側ニ於キマシテ病氣デアルト云フ狀況ニナツテ居リマスカ

○八田委員長 別ニ御質問ハアリマセヌカ

○志波委員 一寸御尋申シマスカ、警察官吏又ハ家畜防疫委員ノ指揮ニ從ッテ、是レノ病氣ノ家畜ハ殺スベシトナツテ居リマスカ、是ハ其所有者ノ承知ヲ得ナイデ直ニ殺スト云フコトハ出來ナイノデアリマスカ、此點ヲ御尋シマス

○藏川農林省畜産局長 警察官吏又ハ家畜防疫委員ガ、其所有者又ハ保管者ヲ指揮シテ殺スノデアリマスカ、本筋ハ所有者ノ承諾ヲ得テアルノデアリマスカ、併シ所有者又ハ保管者ガ之ニ對シテ承知ヲシナイ場合、詰リ其義務ヲ履行セヌ場合ニハ警察官吏又ハ防疫委員ガ、自分デアルコトガ出來ルコトニナツテ居リマシテ、是ハ此十四條ニ書イテ

アリマス

○志波委員 今日能ク不平ガ起キマス
ノハ、野犬ト間違テ大事ナ犬ヲ殺サレ
タト云フコトデアリマス、アレハドウ
云フヤウニナツテ居ルノデアリマス、カ
十四條ニ依テヤラレルノカ、ソレヲ承リ
タイ、ソレカラ先ノ方ニ行ッテ府縣ガ手
當ヲ支給スルト云フコトガアリマス、
詰リ病牛馬ノ足止メヲ爲シタ場合ニ、
生活費ニ充テル爲ニ、府縣ガ其手當ヲ
補給シテ國ガ其何分ノ一カラ與ヘル、
若シ府縣ガ補給シナカッタ場合ニハ、國
ガ單獨ニヤルコトニナルノデアリマス
カ、府縣ガ補給シナイ場合ニハ、全然國
モ亦ヤラナイト云フ趣旨ナンデゴザイ
マスカ

○藏川農林省畜産局長 狂犬病ノ豫防
ノ爲ニ警察官吏ガ道路、公園、社寺境
内、墓地其他ニ彷徨スル犬ヲ抑留スル
コトガ出來ルト云フコトガ、傳染病豫
防法ノ第十七條ニ書イテアルノデアリ
マス、其抑留ヲ致シマシタ時ニハ、所有
者又ハ保管者ニ對シテ、其事ヲ通知ラ
スルト云フコトニナツテ居リマス、併ナ
ガラ誰ノ所有カ分ラヌトキハ彷徨シテ
居タ犬ヲ抑留スルト云フコトヲ告示
スルト云フ法律ノ規定ニナツテ居リマ
ス、其法律ノ規定ニ基キマシテ家畜傳
染病豫防法施行規則ト云フ省令ガ出テ
居リマス、其十一條ニハ此犬ヲ抑留シ
タ場合ニ告示ヲスルニハ三日間ヤラナ
ケレバイカヌ、サウシテ其告示ニハ犬

ノ種類デアルトカ、牡デアルトカ、牝デ
アルトカ、或ハ年齢トカ、或ハ毛色トカ
其他特徴ト云フモノヲ書キマシテ、サ
ウシテ愈々誰モソレヲ取リニ來ナイト云
フコトニナツテ、初メテ殺スト云フ規定
ニナツテ居ルノデアリマス、實ハ昨年デ
ゴザイマスガ、東京府下ニ於キマシテ
モ、狂犬病豫防ノ爲ニ犬ノ抑留ヲシタ
コトガアリマス、其際私共モ現場ヘ參
リマシテ見聞シタノデアリマスガ、中
ニハ熱心ナ方ハ偶犬ニ畜犬票ガ無い
爲ニ押ヘラレタ、サウシテ或ル警察デ
抑留サレテ居ル場合ニ、電話ナシ
カヲ御掛ケニナリマシテ、御取返シニ
ナルヤウナ例モアルノデアリマス、數
多イ中デアリマスカラ、或ハ其三日間
抑留シタ中ニ、其犬ガ發見サレヌト云
フヤウナ場合モ生ズルコトガアルノデ
ハナイカト存ジマシテ、此規定ハ嚴ニ
履行スルヤウニ致シテ居リマス、ソレ
カラ第二ハ今度ノ改正案ノ第二十二條
ノ三ノ問題デアリマシテ、地方長官ガ家
畜ヲ隔離シタト云フヤウナ場合ニ於キ
マシテ、隔離區域内ノ家畜ノ所有者ガ
自活ノ出來ナイト云フヤウナ場合ガア
ル、サウ云フ際ニハ府縣ニ於テ其生活
費ニ對シテ手當金ヲ給スル、是ハ毎日手
車等ヲ挽キマシテ、所謂牛車ノ運送業ヲ
致シテ居ル者ガアルノデアリマスガ、
斯ウ云フ者ノ中ニハ、偶病氣ガ其近所
ニ發生致シマシタ爲ニ隔離ヲサレマシ
テ、ソレガ爲ニ牛馬ニ依ル運搬業ガ出

來ナイ爲ニ、實際生活ニモ困ルト云フ
ヤウナ場合ガナイトモ限ラヌ、是ハ現
實ノ場合ニ於テハ餘リ大シテナイノデ
アリマス、大抵何トカ云フ方法ニ依テ
自活シ得ルノデアリマスガ、偶自活ス
ルコトガ出來ナイト云フヤウナ場合ガ
生ズル場合ニ、國ト致シマシテ何等之
ニ對スル手當金ヲ給セヌト云フノハ、
穩カデナイト考ヘマシタガ爲ニ、今回
サウ云フ際ニ於キマシテハ北海道地方
費及ビ府縣費ヲ以テマシテ手當金ヲ給
スル、其給シマシタ場合ニ於テハ、其三
分ノ一ハ國庫、詰リ國ガ持タウ、其場合
ハ三分ノ二ハ北海道地方費或ハ府縣費
ヲ以テ持タスト云フコトニ致シマシ
テ、北海道ノ地方費或ハ府縣費ニ於テ
斯ウ云フ支辨ヲ致サヌ時ハ、國ハ支辨
ヲシナイノデアリマス、併ナガラ北海
道ノ當局及ビ府縣ノ當局ガ其管内ニ於
テ、自活ガ出來ナイ者ガアッタ場合ニ支
給セヌト云フコトハナイノデアリマシ
テ、此法律ニ依リマスレバ手當金ヲ交
付スベシト云フコトニナツテ居ルノデ
アリマシテ、若シアリトスレバ交付ス
ベキモノデアリマス、故ニ國ガ三分ノ
一ヲ出スノデアリマス、併ナガラ濫ニ
交付金ヲ出スノデハナイノデアリマシ
テ事實自活スルコトガ出來ナイト云フ
コトヲ見極メマシテ出スノデアリマス
○菅村委員 此評價ト云フノハ評價人
ガヤルト云フノデスガ、評價人ト云フ
ノハドウ云フ人デスカ

○藏川農林省畜産局長 評價人ニ付キ
マシテハ第二十四條ニ規定シテアリマ
スノデ、二十四條ノ一番終リノ所ノ第四
項デアリマス、ソレニハ「第一項ノ評價
額及前項ノ屍體ノ評價額ハ地方長官三
人以上ノ評價人ヲ選定シテ之ヲ定メシ
ム地方長官其ノ評價額ヲ不當ト認ムル
トキハ更ニ三人以上ノ評價人ヲ選定シ
テ之ヲ定メシムルコトヲ得」ト書イテ
アリマシテ、更ニ御手許ニハ配付シテ
アリマセヌガ、家畜傳染病豫防法ノ施
行規則第十四條ニ斯ウ云フ規定ガアリ
マス「家畜防疫委員ハ地方長官其ノ所
屬ノ官吏、吏員若ハ市町村吏員又ハ獸
醫ノ中ヨリ之ヲ命スヘシ」トアリマシ
テ、其次ニ「評價人ハ地方長官其ノ所屬
ノ官吏吏員又ハ市町村吏員及畜産業ニ
經驗アル者ノ中ヨリ之ヲ選定スヘシ」
トアリマシテ、詰リ地方長官ガ評價人
ヲ選定スル時ハ、部下ノ官吏デアルト
カ、或ハ吏員デアルトカ或ハ市町村吏
員デアルトカ、或ハ畜産業ニ經驗ノア
ル者ノ中カラ選定サレマシテ、公平ニ
判斷ヲ致スト云フコトニ相成ッテ居リ
マス
○手代木委員 私モ二三私ノ分ラヌ所
ヲ御尋致シタイ、第二條ノ終リノ方ニ
但シ書ガアリマス「但シ家畜カ船車ニ
搭載スルモノナルトキハ船長、鐵道
係員又ハ軌道係員ハ最初ニ寄港又ハ停
留シタル地ノ警察官吏又ハ家畜防疫委
員ニ届出ツヘシ」トアリマスガ、此警察

官吏が届出ヲ受ケタ場合ハ、ソレノ規定ガアツテ處理スルコトニナルノデアリマセウガ、警察官吏ガ其處理ノ方法ニ付キ指揮ヲスルト云フコトニナツテ居リマス、サウシマス警察官吏ハ非常ニ家畜ノ傳染病ノ豫防其他ニ付テノ知識ガ餘程アル者デナイト云フト、適當ナル處置トカ、指揮ガ出來ナイヤウニ思ヒマスガ、現在ノ警察官吏ガ斯ウ言ツタ任務ヲ完全ニ爲シ得ルヤウナ程度ニナツテ居ル御見込デアリマスカ、又ソレ等ニ付テ尙ホ不完全ナ點デモアレバ、之ニ對シテ何カ補フヤウナ方策デモアルノデアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

トス得「斯ウ云フコトガアツテ、其權限ガ非常ニ無限ノヤウニナツテ居リマスガ、一地方ニ於テ處分ヲスル場合デモ、長官ノ獨自ノ考デドン」處理シテ宜シイノデアリマスカ、又サウ云フヤウナ場合ニハ上官ノ指揮デモ求メルヤウナ制限ガナイノデスカ

燒却又ハ埋却ト云フコトガアリマスガ、是ハ何デモ彼デモ全部燒却、埋却シナケレバナラヌノデアリマスカ、又或ル程度ニ於テツレ等ヲ肥料製造ノ原料トカ、或ハ皮革等ノ製造工業ノ原料ニ用キルコトガ出來マスカ、其間ノ關係ヲ伺ヒタイト思ヒマス

定ムル所ニ依テ之ヲ許スコトニシヤウト云フノガ、今度ノ改正ノ立前デアリマス、大體ニ於テ御説ノ如ク家畜ノ殺屍體等ニ付テ、工業原料等ニスルコトハ許シテモ宜シクハナイカト思フノデアリマス、唯之ガ爲ニ病毒ヲ散布スルト云フ虞ガアリマスノデ、サウ云フモノハ餘リ許サヌ方ガ傳染病豫防上徹底出來ルト云フノデ、ソレヲ原則トシテ、唯今般五號ニ於テ、或ル場合ニ於テ命令ノ定ムル所ニ依テ、地方長官ニ病毒ノ傳播ノ虞ノナイモノヲ許スト云フコトニ致シタイト思フテ居リマス

○藏川農林省畜產局長 警察官吏ニ届出ルコトヲ命ジ、或ハ警察官吏又ハ家畜防疫委員ガ指揮ヲスルト云フコトニ付テ疑ガアルノハ御尤デアリマス、實ハ警察官吏ニ届出マシタ時ハ、警察官吏ハ直ニ獸醫ニ相談致シマシテ、獸醫ノ鑑定ノ下ニ諸般ノ處置ヲ致スノデアリマス、又家畜等ヲ殺ス場合ニ於キマシテモ、警察官吏自ラノ知識ニ依テヤルノデハナイノデアリマシテ、事實上獸醫ヲ伴ヒマシテ諸般ノ處置ヲ致シテ居リマスノデ、現在マデ何等之ニ付テ不都合ハナカッタ存ジマス

○藏川農林省畜產局長 第五條ニ地方長官ハ傳染病豫防上必要ガアルト認メルトキハ諸般ノ事ヲ命ズルコトガ出來ルト云フ權限ハ、甚ダ廣イヤウデハナイカト云フ御意味デアリマシタ、是ハ勿論地方長官ニサウ云フ權限ヲ與ヘテ居ルノデアリマシテ、地方長官ノ獨自ノ考ニ依テ是等諸般ノ施設ヲスルコトガ出來ルノデアリマス、併シ一昨午出テ參リマシタ牛肺疫ノ如キモノニ付テハ、初メテノコトデアリマシタカラ、地方長官ハ無論本省ト能ク協議ヲ致シマシテ、諸般ノ處置ヲ致シマシタ、又從來アリマシタ病氣ニ致シマシテモ、其病氣ガ甚シイトカ云フ場合ハ、無論本省ト聯絡ヲ取ツテヤッテ居ルノデアリマシテ、吾々ノ方デハ斯ウ云フ傳染病ノ發生シタ場合ハ直ニ電報デ報告ヲ取ツテ居ルノデアリマス、サウシテ少シ怪シイト思ヘバ、本省カラ人ヲ出張サセマシテ、十分此間ノ聯絡ヲ取ツテ事務ヲ處理シテ居リマスノデ、之ガ爲メ地方長官ガ權限ヲ濫用シテヤリ過ギマシタト云フコトハ餘リナイヤウデアリマス

○藏川農林省畜產局長 大體ニ於キマシテ屍體ハ所有者又ハ保管者デ燒却又ハ埋却シナケレバナラヌト云フコトガ原則ニナツテ居リマス、併ナガラ或ル場合ニ於テハ此規定ヲ適用致シマセズニ、屍體ヲ燒却、埋却シナクテモ宜シイト云フ場合ガアルノデアリマス、其一ツハ第八條ニ書イテアリマス牛ノ傳染性流產又ハ馬、緬羊、山羊ノ疥癬ニ罹リ、又ハ罹リタル疑アル家畜ノ殺屍體ハ燒却、埋却ヲスル必要ガナイノデスカラ、斯ウ云フモノハ特ニ利用ヲ許シテ居ルノデアリマス、此處ニ書イテアリマス第八條ノ第二項ノ一號、二號、三號、四號、五號ト云フモノハ許サレテ居ルノデアリマス、從來ニ於キマシテハ原則トシテ屍體ノ利用ヲ許シテ居ナカッタノデアリマスガ、或ル場合ニ於テハ必シク燒却、埋却バカリサセナイデモ宜シクハナイカ、例ヘバ傳染病ニ罹ッタ疑ノアル家畜デアルトカ、或ハ牛ノ傳染性流產トカ、或ハ馬、緬羊、山羊ノ疥癬ニ罹リ又ハ罹リタル疑アル家畜ノ殺屍體ニシテ、病毒ノ傳播ノ虞ノナイモノト地方長官ガ認メタトキハ、命令ノ

○手代木委員 第十條ニ「前二條ノ規定ニ依リ屍體又ハ物品ヲ埋却シタル土地ハ之ヲ發掘スルコトヲ得ス」トアリマスガ、此埋却スル場所ハ指揮ニ從ウコトニナツテ居ルノデアリマスカラ、相當ナ場所ニ埋却スル譯デアリマセウガ、ソレ等ニ付テ大體ドウ云フヤウナ場所ニ埋却スルノデアリマセウカ、此案ヲ見ルト「之ヲ發掘スルコトヲ得ス」トアリマシテ、恰モ墳墓ト同ジヤウニ、殆ド永久的ニ發掘スルコトガ出來ナイヤウニモ思ハレルノデアリマス、大體ドレ程ノ期間ガ經タラ宜シイノデアリマスカ、地方トシテハ或ル場合ニハ其土地ノ所有者ナリ何ナリガ之ヲ利用スル場合ニ、非常ナ障礙ヲ生ズルヤウナ場合ガナイデモナイト思ヒマスガ、是等ニ付テハ大體ノ期間ト云フヤウナモノガアルノデアリマスカ、又埋却スル場

○手代木委員 第五條ノ所ニ「地方長官傳染病豫防上必要アリト認ムルトキハ左ニ掲クル家畜ニ付其ノ所有者又ハ保管者ニ對シ之ヲ殺スコトヲ命スルコトヲ得」ト云フコトガアツテ、其權限ガ非常ニ無限ノヤウニナツテ居リマスガ、一地方ニ於テ處分ヲスル場合デモ、長官ノ獨自ノ考デドン」處理シテ宜シイノデアリマスカ、又サウ云フヤウナ場合ニハ上官ノ指揮デモ求メルヤウナ制限ガナイノデスカ

○手代木委員 第八條ノ初ノ所ニ於テ、

燒却又ハ埋却ト云フコトガアリマスガ、是ハ何デモ彼デモ全部燒却、埋却シナケレバナラヌノデアリマスカ、又或ル程度ニ於テツレ等ヲ肥料製造ノ原料トカ、或ハ皮革等ノ製造工業ノ原料ニ用キルコトガ出來マスカ、其間ノ關係ヲ伺ヒタイト思ヒマス

定ムル所ニ依テ之ヲ許スコトニシヤウト云フノガ、今度ノ改正ノ立前デアリマス、大體ニ於テ御説ノ如ク家畜ノ殺屍體等ニ付テ、工業原料等ニスルコトハ許シテモ宜シクハナイカト思フノデアリマス、唯之ガ爲ニ病毒ヲ散布スルト云フ虞ガアリマスノデ、サウ云フモノハ餘リ許サヌ方ガ傳染病豫防上徹底出來ルト云フノデ、ソレヲ原則トシテ、唯今般五號ニ於テ、或ル場合ニ於テ命令ノ定ムル所ニ依テ、地方長官ニ病毒ノ傳播ノ虞ノナイモノヲ許スト云フコトニ致シタイト思フテ居リマス

所ニ付テモ大體ノ御方針ガアルノデア
リマスカ、ソレヲ伺ヒタイ

○藏川農林省畜産局長 屍體又ハ物品
ヲ埋却シタル土地ハ永久ニ發掘ヲ許サ
ヌト云フ趣旨デハナイノデアリマシテ、
大體相當ノ期間ヲ經過スレバ地方長官
ニ於テ之ヲ許可スルコトニ致シタイト

思ヒマス、或ル病氣ニ付テハ何年、或ル
病氣ニ付テハ何年ト、斯ウ規定シタラド
ウカト云フ説モ、實ハ私ノ方ノ協議ノ
時ニモ種々攻究致シタノデアリマスカ、
實際斯ウ云フ期間ヲ學問的ニ書クト云
フコトハ不可能デアリマシテ、是等ハ

地方長官ニ於テ適宜ニ裁量シタ方ガ運
用ニ適スルノデハナイカト云フコトデ
斯ウ致シマシタ、又此屍體又ハ物品ヲ
埋却スル場所ハ邊鄙ナ處デアリマシテ、
左程傳染ノ虞ガナイコトニシタイ、家

畜傳染病豫防法施行規則ト云フ省令ガ
出テ居リマスカ、其第八條ニハ「屍體又
ハ物品ノ燒却又ハ埋却ハ人家、飲料水、
河流又ハ道路ニ接近セサル場所ニ於テ

之ヲ爲スヘシ」前項ノ埋却ヲ爲シタル
場所ハ之ヲ標示スヘシ」ト云フ規定ガ
アリマシテ、餘リ人家ト密接シナイト
云フ處ナラバ無論差支ナイノデアリマ

ス、永久ニ土地ノ利用ヲ防害スルト云
フコトハ宜シクナイコトデアリマスカ
故ニ、地方長官ニ於テ適宜裁量シテ行
クコトニシタイト存ジテ居リマス

○手代木委員 今ノニ關聯シテ御尋シ
マスガ、埋却スル場所燒却スル場所ハ、

地方ノ狀況ニ依テ一様ニハ行キマス
イガ、大體此村デハ此處トカ、或ハ此郡
デハ此處トカ云フヤウナ風ニナルノデ
アリマスカ、或ハ自分ノ所有地内ニサ
ウ云フ手續ヲ執ツテ宜イノデアリマス
カ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

○藏川農林省畜産局長 或ル地方ニ於
キマシテハ共同埋却地等ヲ造ツテ居ル
處モアリマスカ、必シモサウデナクテ
モ宜シイノデアリマシテ、時ト處ノ宜
シキニ從ヒマシテ適宜定メテ行キタイ
ト存ジテ居リマス

○手代木委員 此第二十二條ノ三デス
ガ、地方長官ハ第三條第一項ノ處置又
ハ第十六條第一項ノ命令ニ因リ自活ス
ルコト能ハサルニ至リタル者ニ對シ

トアリマスカ、自活スルコト能ハザル
ニ至リタル者ト云フノハ、ドウ云フ程
度ニ至ツタナラバ自活スルコトガ出來
ナイ者ト云フカ、其標準デアリマスカ、

私ノ素人考デ思フノニハ、此判定ハ甚
ダ困難ナ問題デアルヤウニ思ハレルノ
デアリマス、例ヘバ牛ヲ三十頭持ツテ居
タ者ガ、此處分ラシタ爲ニソレデ自活

スルコト能ハザルニ至リタル者、七分
ダケハ自活出來ルケレドモ三分ハ足リ
ナイト云フヤウナ分量的ノ問題ガ茲ニ
起ツテ來ルト思フノデアリマスカ、サウ

云フコトニ付テハドウ云フコトニ依テ
御判斷ニナリマスカ
○藏川農林省畜産局長 御尤ナ御尋デ
アリマシテ、如何ナル場合ガ自活スル

コト能ハザルニ至リタル者デアルカト
云フ判定ハ甚ダ困難デアリマス、唯サ
ウ云フ場合ニ於キマシテハ、地方長官
ハ其狀況ヲ審ニ調査致シマシテ、事實
自活スルコトガ出來ナイト云フコトラ

判定スル外途ガナイノデアリマス、之
ニ似寄ツタ條文ハ人ノ傳染病豫防法ニ
モアリマシテ、地方長官ガ之ヲ調査シ
テ裁定スルト云フコトニ讓ツテ居リマ

ス、之ヲドウ云フ場合ニ限ルト云フコ
トヲ明文デ書クトカ云フコトハ、却テ事
ノ宜シキニ適シナイデハナイカ、地方

ノ事情ニ依テ地方長官ガ其土地ノ人ノ
意見ヲ能ク聽キ、其狀況ヲ十分調査シ
テ裁定スルト云フ方ガ適當デアル、斯
ウ考ヘマシテ此條文ハ入レタノデアリ
マス

○手代木委員 私ハ此傳染病豫防ノ實
績ヲ舉グル上ニ付テモ此條文ハ餘程關
係ノ深いモノダト思フノデアリマス、

矢張是ハ皆一種ノ財産デアリマシテ、
之ニ對シテ處分ヲ行フコトデアリマス
カラ、處分ヲ怠ルトカ、或ハ成ベク隱蔽

デモシヤウト云フヤウナコトガ、人情上
自然生ズル虞ガアルト思フノデアリマ
ス、此手當ナルモノヲ相當ニ與ヘテ行ク
コトニナレバ、進ンデ廢棄トカ處分トカ

業ノ發達ナドノ上カラ考ヘテモ、成ベ
ク多クノ手當ヲ給スルヤウナコトニ
シ、又其査定ニ付テモ只今ノ政府委員
ノ御説明デモ判定ニ困難ダト云フコト
デ、困難ダト云フコトニナルト自然不

利益ヲ見ルコトガ多イト思フノデアリ
マス、嚴重ナ評價ヲ加ヘラレテ、ソレノ
又何分ノ一トカ云フ割合ニナツテ來ル
ノデアリマスカ、自然少ク給與サレ

ルコトニナルト思フノデアリマスカ、
斯ウ云フ點ニ付テ、是ハ經費ノ件ヲ問
題デ、簡單ニ行カヌ事デハアリマスケ
レドモ、當局ノ御方針ハ一體ドウ云フ

御方針デアリマスカ、念ノ爲ニ伺ツテ置
キタイト思ヒマス
○藏川農林省畜産局長 從來ハ傳染病

豫防ノ爲ニ處分シテ自活スルコトガ
出來ナイヤウニナツタ場合ニ對シテハ、
手當金ハ交付シテ居ラナカッタノデア

リマス、今般御承知ノ如キ趣旨ニ依リ
マシテサウ云フ際ニハ手當金ヲ交付ス
ルト云フコトニ改正シタイト存ジテ居

ルノデアリマス、條文ノ書キ方ト致シ
マシテハ「其ノ生活費ニ充テル爲メ手
當金ヲ交付スヘシ」ト云フ命令ニナツテ
居リマシテ、地方長官ハ事實斯ノ如キ

者アリトスレバ、手當金ヲ交付シナケ

レバナラヌ義務ニナツテ居リマス、此手

當金ハ他ノ手當金トハ違ヒマシテ、何分

ノ一トカ云フ標準ハ掲ゲテナイノデア

リマシテ、是ダケハ別ニナツテ居リマ

ス、是ハ事實生活費ニ充テル爲メ必要

五

場合ニハドウナルカト云フ御疑ガアル
カト思ヒマスガ、府縣ノ場合ニ於キマ
シテハ府縣制又ハ北海道地方費——府
縣制ニ依リマシテ、サウ云フ場合ニ府
縣稅ト同ジ強制徵收方法ガアルノデア
リマス、故ニ夫等モ規定セズニ置キマ
シタ、北海道地方費ニ於テモ矢張強制
方法ガアルノデアリマスカラ、此處ニ
二十二條ノ二ノ第三項ト致シマシテ
ハ、國ノ場合ダケヲ規定致シタ趣旨デ
アリマス、先ヅ是ダケ御答申シテ置キ
マス

○鹽田委員 ソレカラ二十二條ノ三ニ
「地方長官ハ第三條第一項ノ處置」トア
リマスガ、第三條ノ一項ハドウ云フ場
合デアリマスカ

○藏川農林省畜産局長 第三條ノ御一
項ト申シマスルノハ、家畜ヲ隔離スル
ト云フヤウナ場合ヲ言ッテ居リマス

○鹽田委員 改正法ノ第十九條ノ場合
ハ異ル場合デスカ

○藏川農林省畜産局長 異ル場合デア
リマシテ、第三條ヲ詳シク申シマス
ト、家畜ガ傳染病ニ罹リ、又其疑ガアル
ト云フヤウナ場合ニ於キマシテ、所有
者若クハ保管者、又家畜ヲ搭載スル船
車ノ船長、警察官吏、防疫吏員ノ指揮
ニ從テ、直ニ之ヲ隔離スルカ或ハ其他
傳染病豫防上ニ必要ナル處置ヲシヤ
ウト斯ウ云フ規定デアリマス、第十六
條ノ傳染病豫防ニ必要ノ場合ニ一區
域一定ノ所ニ出入ヲスルコトヲ止メ
ル場合デ

アリマス、別ノ場合デアリマス
○鹽田委員 二十四條ノ場合ヲ一ツ御
説明ヲ願ヒマス

○藏川農林省畜産局長 第二十四條ハ
家畜ヲ殺シタルト云フヤウナ場合ニ
於キマシテ、家畜又ハ物品所有者ニ
對シテ手當金ヲ交付スル規定ヲ致シ
テ居リマス、手當金ヲ交付スル場合ハ
四ツノ場合ガアリマシテ、第一ノ場
合ハ傳染病ニ罹リテ殺シタル家畜、
サウ云フモノニ對シテハ、評價額ノ
三分ノ一ヲ與ヘル、但シ犬其他ニ付
キマシテハ除クト云フコトニナツテ
居リマシテ、評價額ノ三分ノ一ト此
所ニ書イテアリマスガ、是ハ別ノ勅
令ヲ拵ヘマシテ、即チ第二十四條ノ
第一項ノ但書デ「勅令ノ定ムル最
高額ヲ超ユルコトヲ得ス」ト書イテ
アリマス、勅令ニ於テ定メルト云フ
意味デアリマス、例ヘバ牛馬ニ付キ
マシテハ此第一號ノ場合ニ於キマシ
テハ、二百五十圓迄シカ與ヘナイト
云フコトニナツテ居リマス、次ニ第
二號デアリマスガ、第二號ハ病氣ノ
疑ガアル場合ニ、其病性ヲ鑑定スル
場合ニ於キマシテ、其殺シタル家畜
ノ評價額ノ五分ノ三ヲ交付スル、即
チ第一號ニ於テハ病氣ニ罹リタル家
畜、第二號ハ病氣ニ罹リタル疑ガ
アル家畜デ、病性ヲ鑑定スル爲メ
ニ殺シヤウナ場合ノ家畜ニハ、手當
金五分ノ三ヲ交付シマシテ而シテ勅
令ノ最高額ヲ超ユルコトハ出來ナイ、
牛馬ニ付キマシテハ四百五十圓ト決

テアリマス、隨テ評價額ノ最高額モ
亦高イ譯デアリマス、第三號ハ牛疫
ノレカラ牛肺疫又ハ口蹄疫ニ感染シ
タル虞ガアル家畜デ、而シテ之ヲ殺
シタル家畜ト云フノガ主ナルモノ
デアリマシテ、牛肺疫又ハ口蹄疫ニ
感染シタル虞アル家畜ニ付キマシ
テ、牛肺疫ハ既ニ緊急勅令ニ入ッテ
居リタノヲ根本的ニ統一スル譯デア
リマス、此場合ニハ詰リ牛肺疫ニ罹
リタル家畜デ、今迄同一畜舎ニ居ッ
タ一群ニ居ッタル家畜ト云フヤウナ
、斯ウ云フ家畜ニ付キマシテハ、實
際病氣ニ罹リテ居ルノデモナク、又
病性鑑定ノ爲メニ殺スノデモナイカ
ラ、評價額ノ五分ノ四ヲ交付スル、
此五分ノ四ト致シマスル結果、又最
高額モ牛馬ニ付キマシテハ六百圓ト
云フコトニ致シテ居リマス、此第三
號ニ於キマシテハ牛疫、牛肺疫又ハ
口蹄疫ニ感染シタル虞ガアツテ、所
有者自ラ殺シタル場合ガ第四條ノ場
合デアリマス、第五條ト書イテアル
ノハ、地方長官ガ代リニ殺シタル場
合、第十四條ト云フノハ代理執行ヲ
シタル場合ト云フ風ニナツテ居リマ
ス、其次ニ第七條ノ規定デ、豫防疫
液ヲ注射シ傳染病ニ罹リテ殺サレ
タル家畜モ矢張五分ノ一ヲ交付スル
、豫防疫液ヲ注射シテサウシテ死
ンダ場合ニハ、豫防疫液ノ注射ヲシ
タガ爲メニ病氣ニ罹リテ殺シタル場
合ハ、洵ニ氣ノ毒デアリマスカラ矢
張五分ノ四デアリマス、又第七條ノ
規定

ニ依テ免疫豫防疫液ヲ注射シテ藥液
注射ヲシタル爲メニ殺シタル家畜ハ
、元々病氣ニナルマイト思ッテ、サウ
云フ手術ヲ致シマシテ、却テ死ンダ
ト云フ場合ニハ氣ノ毒デアリマスカ
ラ、是ハ五分ノ四ヲ交付スルコト云
フノデ、評價額ノ五分ノ四ト云フ規
定ガアルノデアリマス、次ニ第四號
ノ規定デアリマスガ、第九條ノ規定
ニ依リ警察官吏又ハ家畜防疫委員
ノ指揮ニ從ッテ物品ヲ燒却シタル
埋却シタル場合ニハ、或ハ十四條ノ
規定デ代理執行ヲ致シマシテ、燒
却シタル埋却シタルスルヤウナ物
品ニ付キマシテハ、評價額ノ二分ノ
一ヲ交付スル、併シ總額ニ於キマシ
テ三十圓ト云フコトヲ勅令デ以テ限
定ヲ致シテ居リマス、デ家畜ノ手當
金ニ付キマシテ、手當金ヲ交付致シ
マス場合ハ、以上ノ四ツノ場合デア
リマス、更ニ一枚メクリマシタル所
ニソレニ對スルコトガ別ノ箇條ニア
リマスカラ、序ニ申上ゲタ方ガ宜イ
ト思ヒマス、第二項ニ於キマシテ「
前項ノ手當金ハ輸入又ハ移入ニ付檢
疫ヲ施行スル場合ニ於テハ前項第一
號ニ規定スル家畜ニ付テハ之ヲ交付
セス」ト書イテアリマスノハ、新シ
イ條文デアリマシテ、從來ハ内地ニ
於キマシテ、家畜ガ病氣ニ罹リテ殺
ス場合、感染スル虞ガアル家畜ヲ殺
ス場合ニハ、手當金ヲ交付致シマス
ガ、外國カラ輸入サル場合トカ、或
ハ朝鮮等カラ移入サル場合ニ於キ
マシテハ、手當金ハ

一切交付シテ居ラナカッタノデアリマス、併ナガラ朝鮮トカ或ハ臺灣ト申シマシテモ所謂日本ノ領土内デアリマス、而シテ牛等ヲ移入スル場合ハ、矢張日本人ガ移入致シテ居ルノデアリマス、又朝鮮ト申シマシテモ朝鮮其モノガ矢張日本ノ領土デアリマスカラ、斯ウ云フ場合ニ一切手當金ヲ交付シナイト云フノハ少シ穩ナラヌト考ヘマシテ、又外國カラ輸入スル家畜ニ付キマシテモ、御承知ノ通り日本ノ現狀ニ於キマシテハ、サウ多ク外國カラ入ルノデハナイノデアリマス、歐羅巴地方カラ入リマスノハ主トシテ種馬デアルトカ、種牛デアルトカ乳牛デアルトカ、非常ニ優良ナモノヲ入レテ居リマス、斯ウ云フモノガ内地ニ這入ル際ニ檢疫ヲ受ケマシテ、其檢疫ノ爲ニ偶病氣ノ鑑定ノ爲ニ死ンダ場合ニ、一文ノ金モ交付シナイノハ穩ナラヌ、輸入又ハ移入ノ場合ニ於キマシテ、多少ノ手當金ヲ交付スルコトニ致シマシタ、唯茲ニ申上ゲタイノハ、第二項ノ前ノ規定ハ輸入又ハ移入ニ付檢疫ヲ施行スル場合ニ於テ家畜及物品ニ付テハ之ヲ交付セズト致シマシタノハ、外國カラ入ッタ牛トカ朝鮮カラ入ッタ牛トカ、病氣ニ罹ッタモノ、ソレ迄ニ手當金ヲ交付スルノハ如何ナモノデアルカ、病氣ニ罹ラナクテ而シテ病氣ノ鑑定ノ爲ニ殺スト云フノハ——病氣ニ罹ッタ虞ガアルト云フ場合ニ殺スノハ、洵ニ氣ノ毒デアアルカ

ラ多少手當金ヲ交付スル、病氣ニ罹ッタシマッタモノヲ若シ手當金ヲ交付スルトスレバ、結局病氣ノ牛ガ入ッテ來ル虞ガアリマスシ、ソコマデ手當金ヲ交付スルノハ過ギタモノデハナカラウカト考ヘマシテ、第一號ノ場合ダケハ手當金ヲ交付致シマセヌ、併シ第二號乃至第四號即チ病氣ノ鑑定ノ爲ニ殺ス、或ハ感染ノ虞アルガ爲ニ殺ス、或ハ物品ヲ燒却埋却スル——物品ト申スト即チ牛馬ノ飼糧デアリマスガ、サウ云フモノヲ燒却埋却スルト云フ場合ニ於キマシテハ、内地ニ於テヤル場合ノ二分ノ一ヲ出サウ、例ヘバ病氣鑑定ノ爲ニ殺ス場合ハ、評價額ノ五分ノ三ヲ出スコトニナッテ居リマスガ、ソレノ二分ノ一即チ五分ノ二ヲ出ス、内地ニ於テハ評價額ノ五分ノ四ヲ出スコトニシテアリマスコトニシテハ二分ノ一ヲ支給スル、何故半額ヲ支給スルカト申シマス、從來マデハ此場合ニ於キマシテハ毫モ金額ヲ交付シナカッタノデアリマスガ、唯今同ハ多少斯ウ云フ場合ニ於テモ交付スル方ガ穩カデア、又檢疫ヲ徹底スル上ニ於テ便宜デアルト考ヘマシタ爲ニ、交付致スノデアリマシタ、之ヲ内地ノ場合ト同ジニ致シマスレバ、外國其他カラ病氣ノモノガ入ッテ來ル虞ガアリマスカラ、先ヅ從來ノ半額トスルコトガ適當デハナイカト考ヘマシテ、二分ノ一ヲ與ヘルト云フコトニ致シタノデアリマス、次ニ

第三項デアリマス、第三項ハ今回ノ改正ニ於キマシテ第八條第二項第五號ニ規定シテ、屍體ノ評價額トアリマシタノガ、今回改正致シマシタ如ク、病氣ニ罹ッタ疑アルモノヲ殺シタ場合ト、全ク疑ナイ場合ニ、病氣デナイ場合ニ、サウ云フモノ、屍體ノ燒却ヲ免スト云フコトニナッタノデアリマス、サウ云フ場合ニ於キマシテ例ヘバ皮ヲ利用スルト云フトキニ、皮ガ大變高ク賣レルト云フヤウナ事ガアリマシテ、只今申シタ手當額ト較ベマスルト、實際其家畜ノ價額ヨリ好クナル場合ガアルカモ知レマセヌ、好クナル場合ニ於テハ、其超過スル差額ダケハ手當金カラ控除スルト云フコトヲ規定シタノデアリマス、第四項ハ評價額ノ決定ハ誰ガスルカ……

〔鹽田委員〕其方ハ宜シウゴザイマス「ト呼フ」

○八田委員長 一寸伺ヒマスガ、此賠償ノ金額デスナ、政府ノ豫算ハドノ位ナ金額デスカ

○藏川農林省畜産局長 此豫算額ハ昭和二年ノ追加豫算ト致シマシテ要求致シタイト存ジテ居リマスノデ、經費ハ約七千六百圓程度ノ金額デアリマス、御承知デアリマセウガ、此金額ハ初カラ豫想シ得ザル金額デアリマス、見込ガ著カヌ金額デアリマス、ソコハ計上シテ置キマシテ、而シテ是ハ補充費トシテ置キマシテ、要レバ幾ラデモ國庫カラ出ルト云フモノデアリマスガ、サ

ウハ要ラザル積リデアリマス、無論先ヅ茲ニ計上シテ補充費トシテ必要ナル限度ヲ支給スルト云フ事ニ致シタイト思ヒマス

○八田委員長 本日ハ是デ打切りマシテ、此次ニ開キマシテ本法案ハ牧野法案ト一緒ニ決定致シタイト思ヒマス、モウ一回御集會ヲ煩シマス、本日ハ是デ散會致シマス

午後零時五分散會